

津田塾大学創立125周年記念事業 国際女性デー記念

特別対談

変革を担う、女性であること × *Be the change!* の先にあるもの

～ 女子大学の意義を語り合う～



津田塾大学

学長 高橋 裕子

津田塾大学文学部英文学科卒業。
筑波大学大学院修士課程修了。カンザ
ス大学大学院（米国）にて M.A. 及び Ph.D.

を取得。桜美林大学専任講師・同助教授を経て、1997 年から津田塾大
学助教授、2004 年から同教授（～現在）。2016 年より同大学長、学校
法人津田塾大学代表業務執行理事・常務理事。

専門はアメリカ社会史（家族・女性・教育）、ジェンダー論。

日本私立大学連盟常務理事、文部科学省大学設置・学校法人審議会会長、
大学基準協会会長、アメリカ研究振興会常務理事、ジェンダー史学会常
任理事、日本学術会議会員。

主な著書に『津田梅子の社会史』（玉川大学出版部、2002 年、アメリカ
学会清水博賞）、『津田梅子—女子教育を拓く』（岩波ジュニア新書、
2022 年）、編著に『女子教育のパイオニア 津田梅子』（ミネルヴァ書房、
2025 年）、共編著に『女性学長はどうすれば増えるか—国内外の現状分
析と女性学長からのメッセージ』（東信堂、2022 年）等。



京都女子大学

学長 竹安 栄子

関西学院大学大学院社会学研究科
博士後期課程単位取得退学、追手門学
院大学教授を経て、2000 年京都女子大学現

代社会学部教授、同学部長。2016 年名誉教授、2017 年特命副学長、
2020 年から京都女子大学長、京都女子学園常務理事。

大学の教育目標にジェンダー平等推進を掲げ、社会に貢献する女性人材
の養成を目指す。専門分野は地域社会学。研究テーマは「地域政治への
女性の参画」「Community based Tourism による地域振興」など。地域
政治への女性の参画推進のため、研究者として各種セミナーや講演活動
も行う。

近著に「ジェンダー平等推進に果たす女子大学の役割～京都女子大学の
挑戦～」『NWEC 実践研究』第 13 号（国立女性教育会館、2023 年）、共
著に『地域社会と女性リーダー』（神戸学院大学出版会、2022 年）、その
他「地域社会の持続的発展に向けて—一女性のためのリカレント教育の意
義と課題—」『地域探究の視角』（ラゲーナ出版、2024 年）等を執筆。

2026 3/25 水 14:00（開場：13:30）→ 15:30

津田塾大学 小平キャンパス

〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1

※ご来訪の際は公共交通機関をご利用ください。

西武国分寺線「鷹の台」駅より徒歩約 8 分 / JR 武蔵野線「新小平」駅より徒歩約 18 分

JR 中央線「国分寺」駅北口より西武バス（武蔵野美術大学行）約 12 分「津田塾大学」下車すぐ

お申込みは
下記二次元コードから



参加無料

要事前登録

定員になり次第
受付を終了します。

<https://forms.gle/hqbQyRJfAJuJC7Sj9>

主 催

津田塾大学記念事業委員会